

晴海地区まちづくり協議会

1. 日時

令和3年6月11日（金）午後6時30分～午後7時30分

2. 場所

月島社会教育会館 晴海分館 アートはるみ 地下1階ギャラリー

3. 出席者

[構成員] 31人
[都・区関係者] 29人
計 60人

4. 議事等

(議事)

(1) 東京晴海水素ステーションについて

- ①東京晴海ステーションの計画に伴う晴海地区地区計画の変更について 【資料1-1】
- ②中央区まちづくり基本条例に基づく協議について 【資料1-2】

(2) 東京2020大会の開・閉会式時の交通規制等について

- ①東京2020大会の開・閉会式時の交通規制及びオペレーション訓練について 【資料2-1】
- ②東京2020大会の開・閉会式時の都営バスの運行ルートについて 【資料2-2】

(3) 東京2020大会選手村及び選手村周辺の状況について 【資料3】

5. 質疑応答

《議事(1)》

①水素社会は明るい未来をもたらしてくれる印象が先行しているが、デメリットの情報が少ないと思う。2019年5月に韓国の工場で水素爆発が起き、同年6月にはノルウェー近郊の水素ステーションの爆発事故が起きている。もし東京晴海水素ステーションで爆発事故が起きたときに、周辺マンションにどのような被害が発生すると想定しているか教えてほしい。

⇒エネルギー事業者であるENEOS(株)は、水素ステーションを国内44か所で展開しており、「水素を漏らさない」「溜めない」「着火させない」ことを大原則に整備・運営をしている。これまでも説明しているとおり、水素は非常に軽く、空気中ではすぐに上昇して拡散する性質があるので、これを利用して水素が室内に溜まらないよう、開放した設計となっている。また、地震の際の自動停止システム、ガス検知器、散水設備など二重、三重の安全設計を施している。晴海水素ステーションについても、こうした対策を万全に行って安全に事業を実施していく。(東京都都市整備局)

②具体的に周辺マンションへの被害はないと想定されているのか。

⇒水素ステーションの所有者、管理者であるENEOS(株)が万全な安全対策を講じていくことになる。
東京都としてもそのようなことがないように事業者と協議、調整を行っていくので、ご理解、ご協力をいただきたい。(東京都都市整備局)

③地域活動の支援について、水素エネルギー啓発施設として学べる機会を提供とあるが、小学校と協議し、要望したら勉強の場として、説明などをしてもらえるのか。施設に人は常駐していないと思うが、この時だけ来てもらい、説明してもらうなどができるのか。

⇒今後、こういった形ができるのか検討させてほしい。(東京都都市整備局)

《議事(2)》

④交通規制の詳細発表は6月末ということだが、どのような方法で発表が行われるのか。

⇒プレス発表、案がとれたチラシのポスト投函、東京都広報、中央区広報、SNS関係など、できる限り周知できるように行っていきたい。(東京都オリンピック・パラリンピック準備局)

《議事(3)》

⑤周辺の住民の間では、選手や大会関係者が夜に歩き回ることなどによる感染リスクの拡大を懸念する声が強く出ている。一部の住民から、晴海地区の住民全員に、オリンピック開催前にコロナの予防接種をしてほしいという声も挙がっている。私見も一部入るが、選手村の生活は外部の者にはよく分からないが、かなり乱れた生活ということも聞く。選手村が非常に大きなクラスターの発生源になることの危惧、懸念も出ている。

周辺住民としては、クラスターのリスク、可能性のあるところに滞在している選手や大会関係者が周辺エリアを自由に歩きまわることによる感染リスクを管理してもらえるのが気になる。一点目は、マスクの常時着用とあるが強制力はあるのか。心情的に、また国として着用しない自由を主張する人がいる。どこまで強制力のある指導ができるのか。

二点目は限定された行動管理の徹底とあるが、選手や大会関係者は外出できるのか。届出をした場所しか外出ができないということであるが、届出をすれば外出ができるのか。また、さきほどの説明の中で、食事は基本的には選手村と言っていたが、基本的の意味が分からなく、例外があるのか。

三点目は、近隣のスーパーや地域で、選手や大会関係者がマスクを着けずに歩いていたときに、住民はどのような対策がとれるのか。

⇒まず、説明をしたルールブックにマスクの着用、食事場所の限定、外出の制限などが記載されているが、どのように強制力を持たせるのかについては、各選手団に責任者を任命してもらい、その責任者の指導もと各選手団にルールを守ってもらうのが大きな枠組みである。責任者は何人もいるわけではないので、どのように実行力をどう持たせるのかについて今議論をしているところである。ご指摘のとおり、このルールブックに記載していることを守ってもらうための強制力をもたせられるように、例えば違反した場合の権利のはく奪など、まもなく公表される最終版のルールブックに向けて調整しているところである。ご指摘の部分は我々も認識しており、様々な関係者と調整しながら、こういった形で強制力をもたせ、心配を払拭できるかについて

検討を重ねている。現在の状況を申し上げますと、先ほど「基本的に」と説明したことは言い方が誤りで申し訳ないが、選手が選手村の外に出ることはない。用務先、滞在先を事前に登録し、登録できる用務先、滞在先も国の水際対策の考えのもと、しっかりとしたコロナ対策ができる施設のみが登録できる。私たちの想定ではこれらの施設以外のところには選手は出ないと考えている。この部分を、より実行性をもたせるために関係各所と調整している。また、食事もさきほど「基本的」と説明したが、外で、市中で食事をすることはないので安心をいただければと思う。(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)

⑥概ね回答いただいた。是非、マスクや外出について強制力のあるルールを徹底してほしい。スーパーやコンビニなどで、マスクをしていない選手や大会関係者と思われる人がいたときに、オリンピック110番のような連絡を取れるツールを作ってもらえるのか。警察に連絡しても管轄が違うと思うので、具体的なことを教えてほしい。

⇒現在も組織委員会のお問合せ窓口としてコールセンターを設けている。このコールセンターにお問合せいただくことで、瞬時に関連のチームに連絡が入り、それに応える形になる。

もし、このような場面を見かけた場合にはコールセンターに電話をもらえれば、選手村チームに連絡が入り、例えば不定期に開かれる選手村団長向けの会議等で指摘をしつつ、その後、一切やらないような制裁とまではいかないが嚴重注意の仕組みを考えていく。(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)

⑦今の説明を聞いていただいぶ安心した。ルールを守らない人が必ず出てくると思う。オリンピックは性善説のイベントだが、対策は性悪説に立ち実行性のあるものにしてほしい。

⇒ご意見も踏まえてきちんと対応したい。(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)

⑧輸送等の内容は記載されているが、選手村周辺の警備の関係についてどうなっているのかが分からないので、教えてほしい。

⇒大会期間中の選手村周辺の警備について、過去にも説明したこともあるが、選手村の中を守るのが組織委員会で、外を守るのは警察関係である。以前の協議会には警視庁に出席してもらい話をしてもらったが、外は警視庁や月島署が中心となり、近隣の住民の安心・安全を担保できるように、その時の警戒レベルにあわせた警備体制をとってもらえると聞いている。警視庁や月島署と連携しながら進めているので安心してほしい。(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)

⑨組織委員会は選手村の中が大事だと思うが、選手村の周辺を考えると区の方でも警備を考えてもらっていると思うので、安心できるような説明をしてほしい。

⑩今回、色々な意見が出た。選手や選手村で働く人の安全も大事だが、それ以上に住民の安全、安心が最優先でなければならない。国・組織委員会・都・区の責任として、さらなる説明内容をできる限り早急に示すようにしてほしい。

⇒今回の大会はかなりきつい環境での開催となる。選手村を抱えるまちとして皆さんの不安が拭いきれるものではないと思うが、今回、組織委員会と都から説明があった。まだ検討している部分もあるが、さきほど質問があったように、現に問題が発生したときの対処方法について、中央区としても組織委員会等の準備状況を見ながら、このようなルールに決まりましたといっ

たことや大会期間中に問題が起きたときに、ここに電話をしてもらえると対応できるといったことなどを整理し、構成員の皆さんに届ける必要があると考えている。今回質問・ご意見いただいたことが整理でき次第、速やかに皆さんに届けられるように区としても対応する。(中央区副区長)

以上